

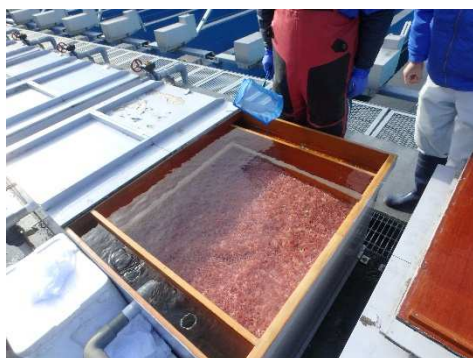
令和3年度の不漁対策として令和3年12月16日に山形県箕輪ふ化場から移出された直後卵合計325,000粒が一旦、南三陸町水尻ふ化場に收容され、発眼後の令和4年1月7日、14日の2回に分け合計290,000粒を希望のあった各ふ化団体に対し、無事輸送完了しました。

※記録的な不漁にも関わらず、移出にご協力いただきました箕輪鮭漁業生産組合、山形県鮭人工孵化事業連合会、山形県庁の関係者の皆様に対し、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

| 直後卵数（粒） | 発眼卵数（粒） | 発眼率 |
|---------|---------|-------|
| 325,000 | 290,000 | 89.2% |



箕輪産の発眼卵



南三陸町水尻ふ化場の浮上槽に收容されていた箕輪産のさけ発眼卵



配布の様子

(左が気仙沼鮭漁業生産組合)



濡らしたさらしを捲いた卵箱に收容し、ふ化場に輸送する

